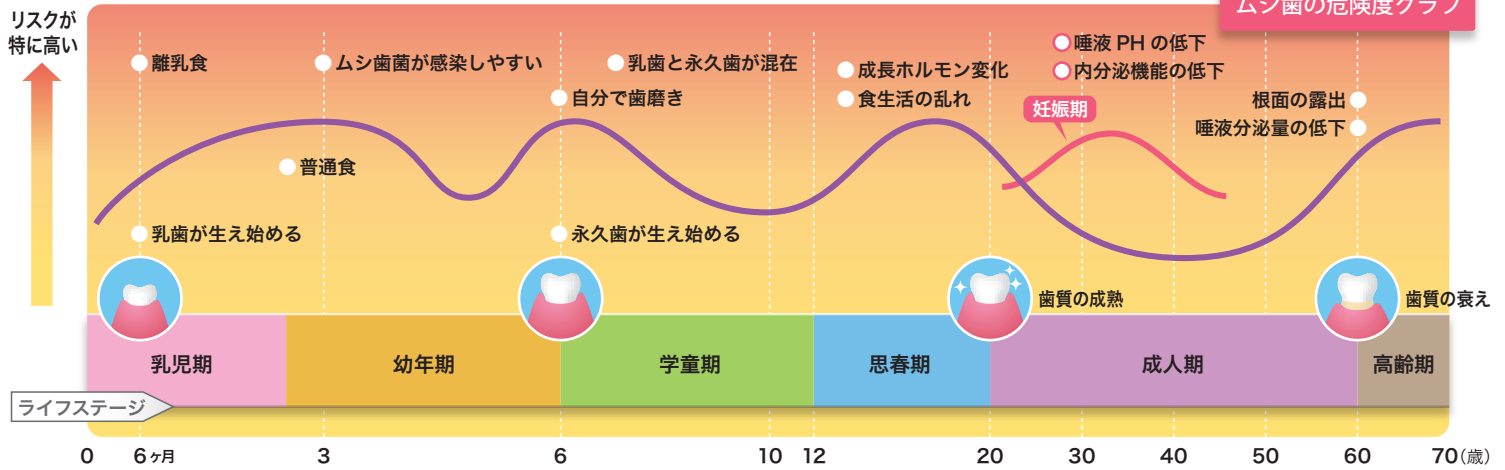


ムシ歯になりやすい時期を知ろう。

ライフステージとムシ歯リスクの関係



年齢による口腔内、生活環境の変化によってムシ歯のリスクは変動します。各ライフステージにおけるリスクを知って、ムシ歯の予防を心がけましょう。



乳児期



生後6ヶ月頃

乳歯が生え始める

- ・離乳食が始まる
- ・未成熟なエナメル質（乳歯）
- ・唾液腺の未発達

幼年期



3歳頃

乳歯が生えそろう

- ・親の唾液からムシ歯菌が感染しやすい
- ・親と同じものを食べ始める

お子さんの虫歯予防には、^{ふさ}歯の溝を塞ぐシーラントやフッ素塗布が効果的です！

学童期



6歳～10歳頃

永久歯が生え始める

- ・未成熟なエナメル質（永久歯）
- ・乳歯と永久歯が混在した凸凹の歯並び
- ・自分で歯みがきするようになる
- ・親の仕上げ磨きがなくなる

思春期



12歳～18歳頃

永久歯が生えそろう

- ・小遣いで買い食いができる
- ・部活でスポーツドリンクを頻繁に飲む^{ひんぱん}
- ・成長ホルモンの変化で歯肉炎が増える

生活環境や食習慣の変化で、ムシ歯になる確率が高くなります！

成人期



20歳～50歳

妊娠期

歯質が成熟する

- ・働き盛りで歯医者に通う時間がない
- ・歯肉炎の原因となるタバコやお酒がOKになる
- ・治療した歯が再びムシ歯になりやすい
- ・唾液pHの低下 **妊娠期**
- ・内分泌機能の低下 **妊娠期**

高齢期



60歳以降

歯質の衰えがみられる

- ・歯肉が痩せて歯の根が見える
- ・生活習慣病が増える
- ・唾液分泌量の低下
- ・咀嚼機能の低下^{そしゃく}

これまでの生活習慣や歯のケア不足が原因で、歯の喪失率が高くなります！

ムシ歯や歯周病の発症を未然に防ぐために、定期検診をオススメします。

